



飯山城下町 ひな街道

10周年

ひな人形展



ふるさと館企画展 H28年2月4日(木)~3月21日(月)

*江戸時代から始まる 奥信濃のひな祭り
わが子の健やかな成長・幸せへの願いが込められた
様々なおひなさま…
奥信濃の春を待つ恒例の風物詩となりました

9:00~17:00
(入館は 16:30 まで)

【入館料】 大人200円 小中学生100円
【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌平日)

本町商店街展示 H28年2月13日(土)~3月6日(日)

*ひな人形や飯山流つるし雛が「城下町いいやま」を彩ります
*体験講習など、各種イベントの詳細は、中面のマップをご覧ください
…メイン会場の展示・体験は、3/1~3/6です…

奥信濃飯山のひな人形

飯山地方では、18世紀後半頃から上級武家や有力商人の一部において「ひな祭り」の風習が開始されたのではないかと考えられています。この頃流行ったといわれる享保雛が商家に保存されていました。農村で行われるようになったのはおそらく明治以降であり、その主流も押絵雛や土雛ではなかったかと思われます。

◆享保雛



享保雛は京都で生まれ各地に伝播した雛人形で、江戸時代中期から作られたお雛様です。面長の顔に切れ長な目が特徴で、女雛の袴は紅の平絹で作られ、なかに綿を多く入れ丸く膨らましています。写真は、飯山城下町商家の雛人形です。町人の間にも広がってきたことを示すものです。

◆押絵雛



昔、京都からお雛様を持つてくることは大変な費用がかかることで、町屋の人々が手に入れることがなかなか難しいことでした。そこで流行ったのが押絵雛で、薄く軽いいため背負い籠に入れ簡単に江戸から運ぶことができ、当時の商家はこの押絵雛をお雛様と称して旧暦の3月3日まで飾るようになったといわれています。

◆土雛(中野土人形)



隣の中野市でつくられている土人形は、奈良家が制作する「中野人形」と西原家が制作する「立ヶ花人形」があり、両者あわせて「中野土人形」と呼ばれています。

立ヶ花の人形(西原家)は、主にひと月早い飯山のひな市に合わせて、飯山・木島平・野沢温泉方面にソリで運搬、出荷されたため「飯山土人形」とも呼ばれていました。

飯山城下町ひな街道 ひな人形展
発行 長野県飯山市大字飯山 1434 1
市民学習支援課 飯山市ふるさと館
TEL/FAX 0269-67 2030

飯山市ふるさと館

「城下町いいやま
ひな人形展」

- ◆2/4(木)～3/21(月祝)
- ※月曜休館、祝日の場合は翌平日
- 江戸時代の享保ひな～土ひなや
- 宮殿ひなまで、雪国いいやまの
- ひな祭りを振りがえります。



- お雑さ展示のお店
- ※お店により、展示期間変更場合があります
- 飲食店・土産店等

飯山城下町ひな街道10周年

～町をひな人形でいりどります～
2月13日(土)～3月6日(日)

ふるさと館企画展「ひな人形展」

2月4日(木)～3月21日(月) 9:00～17:00まで



●飯山駅●
スペシャル
つるし雛
展示
2/10～3/8

●カフェ空楽
ミニ・パッチ
ワーク展やっ
てます!

●人形館
入り口
ひな展示
1/28～
3/15

雪あかり
飯山流つるしびなの世界
「春を待つひなたち」
◆1/28(木)～3/15(火)
10:00～16:00
※作品販売もあります

ホテルほてい

- *段飾り
- *布細工の小物たち<作品販売もあり>
- ◆3/1(火)～3/6(日) 10:00～16:00
- *随時、和小物づくりの体験講習
おこないます!! (3/1～3/6)
- やししょうま・せすしなど販売あり
- お休み処で、あったか～いお茶の
サービスあります!



丸政さん土蔵

- *飯山流つるしびな
- *段飾り
- *布細工の小物たち
- ◆3/1(火)～3/6(日)
10:00～16:00



ギャラリーふるさと

- *段飾り
- *飯山流つるしびな
- *市松人形
- *城下町商家の品々
- *布細工の小物たち
- *着物いろいろ
- *干支の木目込人形
- ◆3/1(火)～3/6(日) 10:00～16:00
- *随時、和小物づくりの体験講習
おこないます!! (3/1～3/6)
- あったか～いお茶の
サービスあります!

老やらい弓町小路

- *段飾り
- *あうる窯陶芸作品展示・販売
- *射的・輪投げ 遊べます
- ◆3/5(土)～3/6(日)
10:00～16:00



飯山復活教会

- *絵手紙展示
- *手作り人形
- *冬の手仕事 (系のご組み木細工Etc)
- ◆3/1(火)～3/6(日)
10:00～16:00
- ※3/6(日)10:30～12:00
ミサが行われています

